

男女共同参画社会をめざす

アゼリア

# Azalea

特集／働きつづけて

東京都北区

Vol.14

平成9年10月







●巻頭言 青山学院大学講師 女性が働きつづけるには……………木村 芙紗子 1

●特集/座談会 働きつづけて……………2

●聞き書き自分史 装いに技の裏打ちを……………6

アゼリアプラネットのご案内……………8

なんとか続けてきました、わたしの仕事。  
あれも、これも、いろいろあったけれど  
問題をひとつひとつクリアして  
あるいは、困難と同時進行で  
ここまでできました。

あなたの …働く動機… を  
しっかり心にたずさえて  
「働きつづける」ということを  
もう一度、考えてみませんか。  
自分のもてる能力を最大限に活かすために。



女性が働きつづけるには……………

青山学院大学講師 木村 芙紗子

男女雇用機会均等法は企業に対し、女子に門戸を大きく開き、男子と均等な待遇を提供するよう求めました。企業も、法の要請とともに社会のニーズに対応する必要があるため、女性の能力を最大限に引き出し活用するという戦略をとり始めました。

しかし、均等法が成立したからといって、直ちに男女差別がなくなるわけではなく、とくに、就職しても結婚すると妻だけが出産・育児のため離職も余儀ないことだとあきらめている女性が多く、女子就業率をM字型にしています。座談会にご出席された方々も、それぞれ、ハードルを乗り越え、ご自分のやりたい仕事、家庭と両立できる仕事をみつけ出し、働きつづけておられるようです。

働きつづけるためには、まず第一に働きつづけやすい職場であるか、法律や制度が整っていても、慣行が根強く残っていないかを見極めることが必要です。次に多くの女性が悩む問題として、家庭と仕事を両立できるかということです。家族、とくに夫の理解・協力が得られるか話し合う必要があります。今後、高齢化が進むと老親の介護の問題も働き続ける阻害要因のひとつになると思われます。

前述の二つの条件より重要なことは、本人の働く動機です。自分のキャリアプランを立て、ライフステージに合った仕事、働き方を選択しなければならぬと思います。そのためには、転職することもありましょうし、常に能力の向上を心掛けなければなりません。今後は、年功序列より個人の能力が重視されるわけですから、職業人としての厳しい自覚と能力、実績の積み重ねが強く求められます。



# 働きつづけて

新しい時代の到来を感じさせる今、  
自分なりの働き方を模索する  
女性たちの姿が目につきます。  
特集では“働き続けていること”に  
焦点を絞った座談会を行いました。  
同じ思いを胸に、  
それぞれの道を歩む彼女たちの声を  
お聞き下さい。



●出席者プロフィール (右から)

**大谷 恭子**  
上十条在住。弁護士となって20年。20才、19才、10才の3児の母。北区では女性のための法律相談、女性大学講師、アゼリアプラン推進区民会議委員など、女性政策方面で活躍中。40代。

**小野農夫子(のぶこ)**  
上十条在住。大学事務職員として20年余。14才、4才(保育園児)の2児の母。職場のすぐそばに自宅があり、家族も家事・育児に協力的。それが仕事を続けてこられた理由と感じている。40代。

**平田リンダ**  
昭和田在住。香港出身。日本人の夫と結婚後、アジア各国で働く。平成8年10月に日本へ。3才(幼稚園児)の母。所属する外資系会社は自分にピッタリと感じている。30代。

**赤津オリビア**  
桐ヶ丘在住。フィリピン出身。日本人の夫と結婚して9年。旅行会社勤務。6才(幼稚園児)、1才6ヶ月(保育園児)の2児の母。タガログ語(フィリピン語)の講師もボランティアでつとめる。30代。

**秦 真理子**  
東十条在住。美容学校講師として20年。今の仕事は天職と感じている。14才。8才の2児の母。40代。

## 仕事との 出会い

大谷 弁護士の大谷と申します。今日は働き続けてこられた女性区民に、外国出身の方も交えて、女性が働き続けるにはどんなことが必要なのか、いろいろな視点で発言していただいて、考えていきたいと思えます。まず、どうして今の仕事を選んだのか、自分と仕事というところから話していきましよう。秦さんは今の仕事を天職と感じられているとうかがいました。それは素晴らしいことですね。

秦 デザイン学校を出て、デパートで婦人服の仕事をしていました。自身で何かをやりたいなくなり、美容学校を捜して入学しました。卒業の時、学校に残って講師にと要請され、同時に結婚の話も持ち上がったので、先生なら結婚して子供ができて続けれられるかなと、今の仕事を選びました。独身の頃はそこまで考えていませんでした。就職と結婚がちょうど重なったので、仕事と家庭の両立を考えざるを得ませんでした。

大谷 女性が仕事を選ぶとき、結婚・育児を考えて、うまく両立できる仕事を選ぶことが多いようですね。小野さんはいかがですか？

小野 私は短大を卒業後、二年間自衛隊にいました。任期満了後、母校の恩平田 はい。働き続けたいと言う意志はずっとありました。転職していくうちに、自分が何をやりたいのかわかってくるんですよ。転職五回です。

大谷 赤津さんはいかがですか？

赤津 私はフィリピンでも写真の仕事をしていました。日本人の夫と結婚して日本に来た時、日本語もわからず、どういふふうに住事をするか悩みました。小中学生が通う塾に通って、日本語を覚えました。一年後に先生のアシスタントとして働くようになりましたが、長男が生まれて辞めました。三年間働けませんでした。再び働き始めたきっかけは、フィリピンに一時帰国するため、旅行会社に勤める友達に切符の手配を頼んだ時です。その会社に勤めないかといわれたんです。そこに勤めて四年目です。途中、次男を産みましたが、区役所から頼まれてタガログ語の講師もしました。

大谷 日本語を教わる立場から、先生のアシスタント、そして今度は自国語を教える立場になるとは、すばらしいですね。私は学生時代に一生働き続けたいと思、それには資格をとらなくちゃと考えたんです。法学部だったし、いろいろ考えて人を相手にする仕事か面白そうかなと、弁護士を選びました。人を好きな限りは、この仕事は面白いと思います。仕事を続けるということでは、資格を持って自分でやっていくというところは一つの要素かなと思っております。自営業なので、自分で仕事をや

師に挨拶にうかがい相談したところ、今の職場をお世話していただくことができました。

大谷 珍しい経歴ですね。勤務先のすぐ近くに住んでいらっしゃるのか。

小野 結婚した当初は大宮から通勤していました。でも、妊娠したら夫がお腹の子供を心配して、一時期私だけ職場のそばのアパートを借りて、別居生活をしていました。もう仕事をやめようと思ったこともありましたが、そのうち偶然、職場のすぐ隣にある公務員宿舎(夫は公務員)に移ることができたので辞めずに済みました。

大谷 偶然が重なって仕事が続けられるということもありますね。平田さんはいかがですか？

平田 香港ではホテルに勤めていましたが、時間が不規則なことや、自由時間が限られてしまうため、香港観光協会に移りました。日本に派遣されている時、仕事の関係が縁で夫と知り合い、結婚しました。私はさまざまな仕事を経験しました。全部マーケティングの仕事ですが、ブランド製品メーカーや、免税品店、広告代理店などです。台湾にいる時出産しましたが、育児はメイドさんに手伝わってもらっていました。去年十月に夫の台湾駐在が終わって、私は仕事を辞めて日本にまいりました。

大谷 夫の転勤のたびにあなたの仕事も変わったわけですね。ずっと仕事が続いているのはすごいですね。その都度、マーケティングの仕事ですが、ご自身に合っていると思いませんか？

## 家族との 関係、 周囲の支え

りくりして家族と折り合いをつけなければならぬ点がありますが。

大谷 仕事を続けていく上で家族との関係はどのようにされましたか？

秦 子育ての時、特に保育園の送り迎えは全面的に母に頼りました。学校が早く始まるので、母の援助がなかったら、果たして続けられたか？

大谷 私も実家の方にすり寄っていく方で。(笑) 夫は育児には協力的でした？

秦 いや、全然だめですよ。今の若いお父さんは保育園の送り迎えをやっている人がいますね。私も夫を選ぶ時、そういう点を見極めるべきだったと思います。(笑)

大谷 その分、お母さんがフォローしてくれてわけてですね。その点、小野さんはうまくやっていますよ。別居しても仕事続けられたら、言ってくれる夫はなかなかいませんよ。そういう人を選んだの？(笑)

小野 (笑) いえ、お見合いですが。でも長男を産んだ頃は、全然あてにならなかったんですよ。毎日、午前様。しかも私も忙しくて、ついに病気をし倒れてしまったことがあるんです。それからですね。本格的に協力してく



大谷 それはつらい話よね。ついていった女が悪いというのは古典的なセリフなんです。セクハラは働き続ける上で障害になりますよね。日本ではやっとなセクハラは問題なんだという意識が出てきた段階です。はっきり言わ



れたのは。週末に育児・家事を全面的にやってくれるようになりました。大谷 やっぱり、病気でするとちがうのよね。夫がやさしくなるというのは聞くわよね。病気をしない女は損するかな。(一同爆笑)

小野 子どもは二人とも、大学の児童学科のナースリールームという保育施設に預けました。保育内容がすばらしくて、私の心の支えでもありました。一番大変なのは、子どもの病気の時とナースリールームが休室してしまう春夏、冬休みの時でした。山形から双方の母に来てもらったり、実家に預けたりしてしのぎましたが、二年前に私がまた病気になるってしまっ。そうしたら、長男が次男の面倒をみてくれるようになりました。

大谷 最初の病気の時は夫を、次の時には長男を教育したというわけですね。(笑)平田さん、赤津さんはご実家は海向こうですよ。ご自分の母親の協力はむずかしいでしょう?

赤津 たまに、母は日本に来ます。その間はとても助かります。平田 私のところは、夫婦だけで子育て



大谷 勤務時間と保育園で預かってくれる時間の問題なんですよね。みんな二重保育になっているんです。実家のお母さんに送り迎えを頼んだりして。赤津さんはどうですか?

赤津 私の職場は自由な時間で働けるので、その点はいいですね。六時までの延長保育も頼めますし。

大谷 延長保育は取りやすくなってきていますね。そのほかに何か働きにくいということは?

赤津 私の知り合いの人にセクハラがあったんです。飲みに誘われてついていったら、イヤらしいことをされたりして…。どうして上のほうの人に訴えないの? と言ったら、自分も一緒にいったから、スキがあったからと言っています。彼女は怖いか何も言えずに我慢している。フィリピンではそういうことは許されないうことよ。



これからも働き続けるには

大谷 さて、これからも働き続けるために、社会や家族への要望はありますか? 何が必要なんでしょう?

大谷 私は専業主婦の母親に子育ての応援をもらって働き続けてこられた年代ですよ。でも、自分の娘と同じ応援ができるかというと、それはできない。だから、もう一つ制度的に保障されていたらどうかと思うんです。九時〜四時の勤務時間帯の人は保育園に預けられないというの、今の時代に合わなくなっているから、



赤津 私は自分自身が働き続けたいという気持ちがあれば、その気持ちを大切に、どんな仕事でもできると思っています。自分を大切にすることね。

小野 私は小さい子を抱えているから大変だということで、職場の方々と家族の理解と協力が得られて今日までできました。しかし、それに甘えないで一杯努力することが大切だと思えます。職場に付属していたナースリールームはとても良かったので、そのような施設が各職場にあると働きやすくなると思います。

秦 私は今まで母に子どもの面倒をみてもらっていたけれど、その母に何かあった時に自分に何ができるかと、今考えています。大谷 私たちは専業主婦の母親に子育ての応援をもらって働き続けてこられた年代ですよ。でも、自分の娘と同じ応援ができるかというと、それはできない。だから、もう一つ制度的に保障されていたらどうかと思うんです。九時〜四時の勤務時間帯の人は保育園に預けられないというの、今の時代に合わなくなっているから、

法が中まで入ってきてなくて…。大谷 小野さんの職場ではそういうことはありましたか? 小野 ありますね。女性が多い職場ですが、いろいろありました。大谷 長男出産の時と、次男の時とは同じような状況でしたか? 十年、間があいているけれど。小野 産休は両方の時取れました。次男の時から育休(育児休業)が取れるようになり、半年取りました。私が第一号です。でも、若い人は育休を取らない人もいます。育休の間は給料はゼロになるし、賞与や勤続年数にひびくからでしょうか。大谷 結婚しても働き続けている人はいるんでしょう? 小野 この頃は多くなっていますね。でも部署とか研究室にもよるんです。二人目を産んでも続けている人もいれば、妊娠して辞める人もいます。大谷 まわりの理解というのは大きいかもしれないね。平田 帰国をしてから保育園を捜したんですが、時期が年度途中だったこともあって、結局はいれなかった。日本の保育園は建物とかハードウェアはすばらしいのに、ソフトの方が充分でないような感じを受けました。友達に聞くとお迎えの時間もきついし。区民のためのシステムなのにね。大谷 今はお子さんは幼稚園。すると仕事はフレックスタイムですか? 平田 自由な時間がとれるような仕事を捜すしかないんです。

働く上で困ったことは

大谷 職場では働きにくいようなことはありましたか?

秦 産休を取ったり、出産しても辞めなかったのは私をはじめで、二人目を出産した後は閑職に追いやられましたが、数人で声をあげて労働条件などが改善してきたんです。でも、職員の大半はそういうことを非難はしないけれど、協力もしないという姿勢でした。その人達にも待遇面の向上などあるし、良い面があるのに。そういうところを寂しく感じましたね。

大谷 美容学校という女性の職場に産休を取りにくい雰囲気があったんですか? 秦 その頃はあったんです。労働基準



聞き書き

自分史



# 装いに 技の裏打ちを

—世代をつなぐ美容師家族—

渡辺朋子さん（東十条3丁目在住）

JR京浜東北線、東十条駅を降りて、賑やかな商店街を歩くと、「とも美容室」と書かれた大きな看板が目に入ります。

「いらっしゃいませ」の声で迎えたお客様を、身につけた技術とセンスで装いを整え、そして送り出すのがここでの仕事。今回は、美容師は自分で三代目という渡辺朋子さんを、お訪ねしました。忙しい合間を縫って、待ち合いのソファでお話を伺いました。

## お客様が薬

美容師を職業にしてから間もなく四十年になる渡辺さんは、この日も朝から立ち仕事です。店内にはBGMが流れ、通いの従業員の方たちと、次女の映理さんが揃いの黒いエプロンをつけて、無駄のない動作で立ち働きます。

「ずっと立っているのは大変でしょう？」

の質問には

「たまに頭の痛い時があっても、お客様の顔を見ているうちに元気が出て、いつの間にか具合が悪かったことなど忘れてしまっているんですよ。私にはお客様が薬のようですね。」

と明るい答えが返ってきました。

## 先々代は「女髪結」

髪を自分で結うのは、古くは女性のたしなみの一つでした。それが職業として登場したのは江戸時代と言われています。人の手を借りるのは贅沢だ、ということてたびたび禁止令も出されましたが、それでも「髪結」と呼ばれて広く庶民に受け入れられていった歴史があります。記録によれば一八五三年（嘉永六年・ペリー来港の年）には江戸市中に「女髪結」の職人は、一四〇〇人以上を数えたとされています。（平凡社大百科事典より）

渡辺さんの祖母にあたる先々代の店主は、この流れ

を汲む髪結いを職業にした人でした。また、「江戸屋式秘傳公開・結髪大全」という著書も出版し、その中で髪結いの手ほどきから髻の種類まで丁寧な絵と解説で綴っています。

渡辺さんが伝え聞いている話では、この先々代という人、夜中に髪型のアイディアを思いつくこともあったそうです。そんな時は、すぐに皆を起こして話をさせ、早速弟子をモデルに試したそうです。仕事への熱意が並大抵のものではなかったことの表れと言えましょう。「女髪結」が初めて女性の職業として公認されたのは明治維新後のことです。当時では数少ない、女性の職業のうちのひとつでした。

## 先代は母

昭和十年、渡辺さんは神楽坂で生まれました。母親である先代の店主は「日本髪」を結い上げる手腕では美容界でも第一人者といわれていたそうです。お店を経営するかわら、花嫁衣裳の着付けや髪結いを舞台で披露する華々しい仕事も手がけていました。また、毎月発行されていた当時の美容雑誌に、モデルの写真を掲載してその髪型を紹介し、女性たちの関心を大いに惹いていました。こうした環境の中で育った渡辺さんにとって、母親が働いている、ということはごく自然なこと、取り立てて寂しさを物足りなさを感じたことはなかったそうです。むしろ、店を訪れる女性たちの、結い上がった髪を間近で見たり、客席から舞台を見上げて、その華やかな雰囲気に触れたりすることは、幼い頃から、渡辺さんの生活の一部になっていました。こうした経験が重なって、少しずつ渡辺さん自身の進む方向が決まっていたようです。

## 修業時代

昭和一九年、戦火を避けて、渡辺さん一家は鬼怒川

に居を移しました。高校卒業と同時に単身上京し、世田谷にあった美容室に住み込むことになりました。現在のような資格試験制度がまだない時代です。美容師として一人前になるためには、弟子の一人に加わって寝起きを共にしながら、店主から技術を学ぶことが必要でした。またそうすることがその頃の慣習でもありました。

一つの作業を徹底してこなせるようになるまでは、繰り返しそれを習い、やがてそれを先輩に譲ると、新しい役目を先輩から譲られて覚えていく。そうやってお客様の髪を整えるまでのひと通りの流れを身につけていきました。

「入らたてはどんな職業でもたいへん。洗濯でも何でも手でやっていた時代ですから」と感慨深げです。

起床と同時に始まる日課。食事は弟子が交替で作ります。店主の家族の子守りをすることもありました。昼間は先輩の仕事を見て習い、夜は弟子がお互いをモデルに、流行に合わせた髪型の研究に励みました。早く一人前になるために、休み時間を惜しむことは、ごく当たり前の日常生活でした。その頃の一番の思い出は、

「先生が留守の時、みえたお客様に『この次も、あなたにお願いするわ』と言っていたいた時です。美容師を仕事に選んで本当によかった、と思いましたね」と昨日のことのように笑顔で話します。

## 自分のお店

美容師として一人立ちしたのは六年間に及ぶ修業を終えてから。そして二四才の時、結婚しました。初めてお店を持ったのは、現在の店舗より西寄りの東十条四丁目でした。昭和三四年のことです。

長女、長男、次女と、その出産の時は、それぞれ二

## これからの人たちへ

「お客様の希望に添った出来上がりを満足していただくのが、何より嬉しくてやり甲斐があります。健康で、ずっとこの仕事を続けていきたいですね。若い人たちによく言うのは、下手でもいいから根気よくやり遂げる努力が大切だということ。そして資格をとってからが本当の勉強だ、ということですね」と暖かな眼差しで、従業員の方たちや映理さんにエールを送ります。

先々代、先代が伝えた庶民の文化を現代につなぎ、その技を確かなものに練り上げてきた美容師としての日々。次の世代の指導も含めて、仕事に傾ける気持ちで語る渡辺さんの穏やかな口調には、控え目な中に凛とした強さを感じました。





# アゼリアプラネットの主な事業

いきいきと暮らそう 女性センターはあなたの元気を応援します。

## アゼリアプラネット活用法 (女性センター)

### 北区ニュースを 毎号チェックしましょう

各種講座の案内をみつけて、気に入った講座に申し込んでみましょう。どの講座も受講料は無料(但し教材費等は実費)です。お申し込みは往復はがきで、お問い合わせは電話でどうぞ。

### グループを作り 団体登録をしましょう

せっかく縁あって、同じ講座を受講されたのですから、皆さんで自主グループ(7人以上で、その過半数が在住・在勤・在学の女性であること)を作り、「女性団体登録」をしましょう。詳しくは女性センター窓口までどうぞ。

### 団体登録で いろんな特典を利用しましょう

団体登録をすると、女性センターの各学習室や和室、洋裁室、料理室、それに保育室などが無料で利用できます。利用時間は、朝9時から夜9時までです。また、給湯室もあります。お茶の葉をご持参ください。後片づけもお忘れなく。部屋の予約は2ヶ月前の日の属する月の初日から、センター窓口で受付をしています。

## 情報コーナーや 談話スペースはいつでも

玄関を入った左脇には、情報コーナーがあります。ここには、約2千冊の本(主に女性問題関係)が揃えてあります。貸出期間は2週間以内です。また、図書検索端末機も設置しています。なお、ここには少人数(約5名程度)で、語り合えるテーブルと椅子もあります。さらに、センター1階奥には7名程度で集える談話スペースがあり、いつでもご利用できます。そばに自動販売機も設置されています。

## ワーキングルームで 文書の作成を

玄関の右脇には、ワーキングルームがあります。ここでは、ワープロや用紙を持参すれば無料で利用できる印刷機、それに有料のコピー機などがあります。使い方は簡単です。ぜひ、ご利用ください。

## 予約すれば 秘密厳守で各種相談も

毎日の暮らしの中で、女性が感じる様々な迷い、悩み、不安を女性の専門家が無料で相談に応じています。小さなこととして心の中におさめてしまわず、一度相談してみてください。電話での相談もできます。詳しくは別表のとおりです。

## こんな講座を開きました

### 今までの主な事業報告

- 体の悩みありませんかー女性の体と医療ー心身ともに生き生きと過ごしていくためには、女性自身が自分の体をよく理解することが大切です。産婦人科の医師の話聞きながら考えてみました。(実施月-5・6・7月)
- 人生エンジョイ/いきいきセミナー 自分の思いを素直に表現し、行動する力をつけ、自分発見をしました。(5~7月)
- 女性のための文章表現講座 書くことを通じて、自分自身の考えや暮らしの中のあり方をとらえ直し、エンパワーメントしてみました。(5~6月)
- 子育てひろば 子どもをどう育てたらよいか、一人で悩まずに話してみました。子育てを通していろいろな人や自分と出会う、子育て中の方のサロンのような集まりでした。(6~7月)
- 女子学生のための就職講座 就職協定の廃止で、女子学生の就職活動も早目の準備が必要となりました。就職活動の実情についての講義と、模擬面接などを行いました。(7月)
- 夏休み子ども料理教室 小学4年~6年生を対象に、夏休みのひとときを、料理作りで楽しみました。(7月)

## これからの主な講座予定 詳しくは北区ニュースで

女性大学	1部・2部	9~12月
	マスター	9~2月
メディアと女性シリーズ		9~11月
人生エンジョイいきいきセミナーⅡ		9~12月
サタディアフタヌーン男達セミナー		9~10月
カウンセリング講座		10~12月
法律・税・年金講座		10~11月
就職支援講座		11月

## 各種相談

相談内容	心の相談	法律相談	体の相談
相談日時	毎週水曜日 午後3時~7時 毎週金曜日 午後1時~5時	毎月第1土曜日 午前9時30分~午後0時30分	毎月第1火曜日 午後2時~5時
相談員	女性心理カウンセラー	女性弁護士	女性産婦人科医師
予約方法	上記の相談日時に電話で予約	随時予約受付	随時予約受付
予約電話	(3913)0015(相談室専用)	(3913)0161	(3913)0161
備考		1月は第2土曜日に変更	

\*お子さんと一緒に来所される場合は、その旨申し出てください。

## 相談室から

女性センター相談室は平成4年開設されこの秋丸5年を迎えます。その間20代~70代と幅広い年齢層の女性が訪れ、気持ちの整理や知識・情報の提供の場として定着してきました。

相談内容を見ますと、就職・結婚・子育て、夫婦・近隣親族とのつきあい、職場・生きがい・経済・老後の生活とさまざまです。これらの悩みは、個人の環境や歴史と深く関わっていますが、女性の多くが共通に抱える問題でもあります。娘・妻・母・嫁・女として求められてきたものが、気持ちや考えの上で大きな位置を占めているようです。例えば、

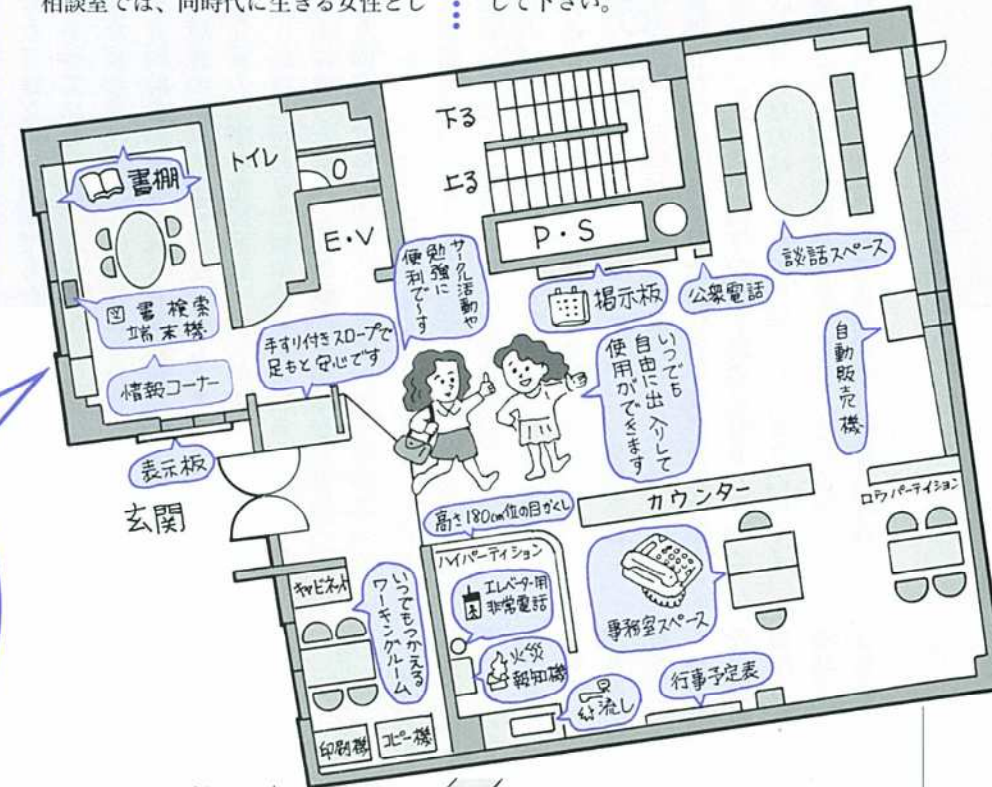
「意見がくい違ふと、主人は大声で暴言をはいたり、手が出る。普段は優しいんです。逆らった私が悪いんじゃないかしら…」とか、「母親の私がしっかりしなくてはと家庭のことをがんばってきたけど、子どもが思うように育たない。私の育て

方が間違っていたのかしら…」と訴える時、そこには妻・母といった女性の役割意識がかいま見えます。時代は変わりつつあると言われますが、まだまだこのようなとらわれの中にいる方は多いのです。

役割をこなすことは大事なことです。一人の人間として、ありのままの気持ちやからだをどれほど大切にしてきたでしょうか。また、まわりからどれほど大切にされてきたでしょうか。役割にとらわれすぎると、「私わがままなのか」と自分を責めたり、「あなたが悪い」と人を責めたりして、不安、不満、孤立感を持ちやすいものです。

相談室では、同時代に生きる女性とし

ての共感性をもちつつ、まず相談にいらした方の話をじっくり聴くことを心がけています。自分のありのままの考えや気持ちに気づき、自分で心の傷を癒すのは、なかなか力のいることです。また、適切な知識や情報を知らないがゆえに、一步を踏み出せないということも多いです。それらを得ることも大きな力となるでしょう。ていねいな関わり合いを通して、自分を大切にすることを身につけ、それがさらに身近な関係へと広がり、地域や職場で前よりも生き生きとした暮らしができるよう、共に歩いていきたいと思っています。気楽に、相談室のドアをノックして下さい。



女性センターをどうぞ  
ご利用ください。

住所/北区豊島一四一  
電話/〇三三九二一〇一六  
休館日/日曜日・祝日・年末年始



## 女性政策課からのお知らせ

もうひとつの北区史2

### 「戦時下にくらした女性たち」発刊

女性政策課では、昨年の「田端文士・芸術家村と女たち」に引き続き「戦時下にくらした女性たち」を発刊しました。

戦時中に軍関係の仕事に携わったり、空襲を体験した女性たちの暮らしぶりから、地域の歴史を掘り下げようと、女性区民が自らの手で調べ、見聞きし書き記しました。

ぜひ、ご購入下さい。



頒布場所／区役所第1庁舎1階区政資料室  
及び書店

頒布価格／1,200円（消費税別）

問い合わせ／女性政策課計画係

3908-1111 内線 2221～2

### 女性海外派遣事業

北区の友好都市、北京市宣武区へ第4期派遣団を派遣します。

宣武区の女性との友好を深めるとともに、両国の女性が抱える問題や生き方について、共に考えていくことを目的としています。

なお、今年度は、環境問題海外派遣団と合同で実施します。

派遣人数／10名

派遣月日／平成9年10月27日(月)～  
11月1日(土)

## 働く女性応援セミナー

～長いスパンで働こう～

11月のパート労働月間に、東京都王子労政事務所と共催で、働く女性応援セミナーを開催いたします。

■会場／北とびあ 7階第1研修室

■申込み／電話またはFAXでお申込みください。

■保育／2歳以上のお子さんを対象に託児室を用意しています。10月24日までに予約してください。

■問い合わせ及び申込先

東京都王子労政事務所

Tel. 3900-0117 Fax. 3906-2036

### ■日時・テーマ

11月4日(火) 18:15～20:45	考えていますか? ライフプラン
11月6日(木) 18:15～20:45	健康づくり実践レッスン
11月12日(水) 18:15～20:45	仕事とからだのバランスを失う女性たち
11月14日(金) 18:15～20:45	これだけは、パート・派遣社員の法律常識

## Azalea NO.14

発行／東京都北区総務部女性政策課

Tel. 3908-1111

内線 2221・2222

企画・編集／アゼリア編集委員会

区民編集委員

小田原淑子 鈴木れい子

醍醐麗子 田島加代子

館江順子 時田靖子

森下えつ子

写真／小田原淑子

制作協力／(株)みづほ

仕事を続けられるかどうかは運、不運ではなさそうです。「私らしい活動のしかた」を手に入れるために、私自身の

ほんとうは私はマンガ以外は何かしら人間なのに。(田島)

マンガ家という職業を選び、仕事を続けていく上で必要なものは、一にも二にも人気。二十数年前に聞いたI先生の言葉が、今も私を縛っている。自分の人生のすべてを賭けて、人気という怪物に立ち向かっていくことをためらわされている。

私が師事したI先生は、貸本スリラー少女マンガ家。あるとき先生は急に人気を失って、「高橋(私の旧姓)さん、この商売危ないよ。きみは大学に行きなさい。お嫁に行きなさい。プロになってはいけないうい」と言われた。そして筆を折り、マンガ家を廃業してしまわれた。

仕事を続けられるかどうかは運、不運ではなさそうです。「私らしい活動のしかた」を手に入れるために、私自身の

ほんとうは私はマンガ以外は何かしら人間なのに。(田島)

マンガ家という職業を選び、仕事を続けていく上で必要なものは、一にも二にも人気。二十数年前に聞いたI先生の言葉が、今も私を縛っている。自分の人生のすべてを賭けて、人気という怪物に立ち向かっていくことをためらわされている。

私が師事したI先生は、貸本スリラー少女マンガ家。あるとき先生は急に人気を失って、「高橋(私の旧姓)さん、この商売危ないよ。きみは大学に行きなさい。お嫁に行きなさい。プロになってはいけないうい」と言われた。そして筆を折り、マンガ家を廃業してしまわれた。

編集後記

意識を変え、声に出して周囲にはたつきかけることから始めました。

家事も仕事も、勉強もボランティアも、私なりの時間配分で行動。そこから得られる知識や情報をはじめいろいろなものを選択しながら、家族に還元するようになりました。なぜなら私の活動は、家族の理解なしには考えられないからです。結果として、社会とつながっている「私」を自然に印象づけることになりました。

その構成年齢にもよりますが、家族がどんな形で社会と関わっているかで、家庭の中の雰囲気も時と共に異なってくると思います。家族一人一人の「精一杯の自分らしさ」を受け留めながら、私も目標を持ち、活動のしやすさを求めて、じっくりと発酵を待つ息の長い努力を続けていきたいと思えます。

(森下)